

平成28年度事業報告

平成28年度の当センターは、第五次中期計画のスタートの年であり、“心いきいき 生涯現役”のスローガンのもと、新たな気持ちで事業活動に取り組んだが、大型契約縮減による実績面での影響や、会員増強に向けた積極的な諸施策が実らず、厳しい結果となった。

先ず年度末の会員数は、2,865名と対前年度比44名減であった。この主要因としては、企業等における継続雇用が定着し、60歳台の入会が大きく減少していることと、設立以来初めてとなる会員票の更新作業をきっかけとして、高齢会員を中心に多くの退会がみられたことによる。

また契約実績についても、対前年度比2.2%減の966,347,200円の結果となった。内訳として、民間契約が対前年度比2,074,316円増となった一方、公共契約は財政難等の理由により、23,934,010円減と大きく落ち込んだ。

しかしながら、契約件数は家庭を中心に堅調であり、対前年度比342件の大幅な増加となった他、就業率についてもワークシェアリングを推し進めた結果、前年度を7.7ポイント上回る93.5%と、過去最高の数値を得た。

また新たに開始した一般労働者派遣事業は、第一号契約として学童保育クラブ職員補助の11現場に派遣し、次年度に繋げることが出来た。

さて会員の事故について、“安全は全てに優先する”シルバーとして、安全就業の啓発に努めたが、保険対象事故で29件の発生となり残念な結果となった。近年増加傾向が続き、大変憂慮すべき事態となっている。

また広報・周知活動について、「シルバー交流まつり」を初めて屋外芝生施設“町田シバヒロ”で企画したが、残念ながら荒天となり中止となった。しかし、市庁舎において初めて参加をした「まちカフェ！」や、二回目となる新春の催し物「シルバー展」は、大勢の来場者があり賑わいを見せた。

以上、地域に根差した事業を行なう公益法人として、ボランティア活動にも延3,143名が参加する等、一年間大過無く事業運営が出来たことについて、町田市を始めとする関係機関や市民の皆様によるシルバーへの深いご理解と、会員の皆様の仕事に対する真摯な姿勢の結果だと、ここに改めて感謝を致します。

項目別には、以下のとおりです。

1. 広報・周知活動

(1) 全会員にセンター情報の共有化を図るため、シルバー会報誌「銀齡だより」を年6回発行した。また地域班長向けに、より新しい情報を届けるため「センター短信」を毎月発行した他、「シルバーエイジニュース」を1回発行した。

(2) 市民向けのパンフレット配布の他、女性会員の募集に特化したリーフレットを作成し、地域限定の配布を行なった。また“広報まちだ”に、「シルバー交流まつり」の開催やセンター紹介を掲載いただいた他、「駅周辺美化清掃活動」について、武相新聞・タウンニュースの記事掲載並びに多摩テレビに放映していただいた。更により詳細な情報を提供するためホームページの充実を図った。

(3) シルバーのイメージアップのため、宣伝部隊「夢舞シルバー100」「シルバー連町田」を中心として、各種イベントに延17回参加した。(生ッスイ祭り、町カフェ!、シルバー展、エコフェスタ等)。また毎年開催をしている「シルバー交流まつり」は、初めて屋外芝生施設“町田シバヒロ”で企画をしたが、残念ながら荒天となり中止となった。

(4) 「シルバー連絡所」を役員・班長宅を中心に71か所設置した。

(5) 会員拡大策として、専門講師を迎えた講演「明るく元気に町田で暮らす」を4回シリーズで開催(参加者 延190人)した。また(公財)東京しごと財団主催の「家事援助・子育て支援普及啓発イベント」に2回出演をした。

2. 就業拡大・適正就業

(1) 新規就業先の開拓のため企業・団体を訪問した他、既存契約先の継続受注や職域拡大のための訪問、また町田市に対し観光関連事業や子供の学習支援等の事業提案を行なった。

(2) 本年度より開始した一般労働者派遣事業は、「学童保育クラブ職員補助」の11現場の派遣となり、派遣会員23名、延121名の実績となった。

(3) 介護予防・日常生活支援総合事業については、訪問型サービスAを中心に参入の検討をしてきたが、町田市に対して多くの専門事業所からの申請があり、現時点での参入は見送ることとした。

(4) 会員及び地域班の自発的な就業開拓行動としての「一人一紹介運動」は、前年度比78件増の195件の協力があった。またワンコイン事業の通称「ちょこっとサービス」は13回の実績だった。

(5) 同一作業場所における長期継続就業会員の是正について、9年以上の対象会員に共働共助の理解を得ながら実施をし、発注者の協力のもと結果74名が交代となった。

(6) 適正な契約の推進と現場の適合を行なうため、契約書を含む就業形態の見直しや、国の示すガイドラインの周知を発注者並びに会員に行なった。

なお大型受注における地域班の展開事業は、以下のとおりとなった。

・ごみ袋無料配付	実人員	491名
・公園除草（春）	〃	344名
・公園除草（秋）	〃	308名
・「ちょこっと共済パンフ」全戸配布	〃	391名

3. 調査研究・相談

(1) 入会希望者の意識とシルバーに対する理解度を把握するため、「新入会アンケート」を毎月実施し、計342名から回答を得た。

(2) 全正会員を対象に、シルバーに所属する意義や満足度を把握するための意識調査を実施した他、配布業務や学童指導・学習支援等の就業意向アンケートを2回実施した。

(3) シルバー就業の介護予防効果について継続的に分析するため、(公財)ダイヤ高齢社会研究財団の全面的な協力のもと、「健康・生活アンケート」を実施し、2,283名からの回答（回収率73.7%）を得た。また結果の抜粋版を「銀齢だより」並びにホームページに掲載した。

(4) 会費自動引落しの未手続者に対し意向調査を実施し、338名から回答を得た。〈結果 未手続者の約8割が現金で支払いたい〉

(5) 就業相談について、随時の窓口対応の他、毎月定例の相談会を24回実施し、延207名の相談者があった。

(6) 未就業会員517名に対し往復はがきによる現況調査を行ない、329名から回答を得た。またそのうち希望者92名に対して個別の就業相談を行ない希望職種の変更や大型受注等の希望登録を行なった。

4. 研修・講習

(1) “ノートラブル・ノークレーム”に向けたマナー研修は、新入会予定者全員（342名）に安全講習と合わせ全11回開催した他、ごみ袋無料配付事業の新規就業者対象に1回（参加者52名）、臨時就業向け対象者に2回（133名）実施をした。

(2) 地区担当委員研修を1回（17名）、地域班長研修を5回（209名）開催し、センター現況や地域班の役割についての認識を深めるとともに、専門講師を招聘し、地域ボランティアの活動方法や、高齢者に纏わるメンタル問題並びに詐欺被害の防止等の講演を行なった。また新任の地区担当委員・班長研修を1回（14名）開催した。

(3) 仕事別グループの研修や会議を85回（829名）開催し、円滑な就業環境の確保並びに作業の標準化及びレベルアップを図った。また一般労働者派遣の学童

保育クラブ就業者を対象に、2回（参加者延29名）の事前研修を行なった。

（4）入会促進を含む後継者の育成や就業拡大のための技能講習は、一般市民を対象に全4日間の「初心者植木剪定講習」（参加者13名）並びに「刺し子講習」を2回（参加者12名）、「小銭入れ作り講習」を1回（参加者11名）開催した。また現就業会員のスキルアップとして全2日間の「植木剪定講習」を2回（参加者29名）開催した。

（5）地域の支え手にシルバー会員がなれるよう、「認知症サポーター養成講座」を、新入会員向けと合わせ計7回（参加者194名）開催した。

（6）上部団体である（公財）東京しごと財団の研修には、「ステップアップ接遇」に3回（3名）、「パソコン教室運営」に1回（5名）、「毛筆筆耕」に2回（2名）、「襖・障子の張替え」に2回（3名）、「植木の剪定」に1回（2名）、「家事援助サービス（エアコン・換気扇清掃）」に1回（12名）、「包丁研ぎ」に2回（4名）、「パソコン出張サービス」に1回（2名）、「サービス分野リーダー養成」に2回（5名）、それぞれ会員が受講した他、役職員研修に計21回（38名）参加をした。また第七ブロック主催の研修や他組織の講習には、役職員を中心に計25回（34名）参加した。更に、第七ブロック会長・理事長会を幹事市として2回（出席者延24名）開催した。

5. 組織整備・活性化

（1）重要案件の決定や諸規程の整備等を行なうため、定例理事会を毎月開催した他、臨時理事会を1回開催した。

（2）六つの専門委員会を毎月開催し、所掌事項の検討や実施を行なった他、合同委員会を2回（出席者延77名）開催し、情報共有を含めた連携の強化を図った。

（3）事業報告を含めたセンターの現況並びに今後の方針を共有するため、役員・地区担当委員・班長の合同会議（出席者99名）を開催した。

（4）地域連絡会を市内すべての地域班（91班）で開催し、2回実施の6班を含め791名が参加した。また地域班活動をスムーズに行ない、より推進していくために、地域における地区担当委員と班長の合同連絡会を19地区81班が行なった。

（5）「一人一会員入会運動」を奨励し会員拡大を図った。

（6）女性限定の入会説明会について、「刺し子講習」に合わせ試験的に開催し、3名が入会となった。

（7）東京都シルバー人材センター連合における人材情報バンクや新連合システムに対応するため、会員票の更新作業を含む業務システムの変更準備を行なった。

（8）わくわくプラザ町田の就業開発室について、サロン活用を含めた多目的使用ができる部屋の整備に向けて工事を行なった。

6. 財政の安定化

(1) 資金回転率の向上や未収金問題の改善を図るため、発注者に対し、コンビニエンスストアによる入金を推進した結果、半数以上（8, 147件）が利用することとなった。

(2) 納入の利便性並びに事務の軽減を図るための会費の自動引落とし手続きは、全体の約8割に上る2, 255名となった。

(3) 本年度より開始をした「銀齢だより」の一般有料広告は、4社からの依頼があり、延7枠の広告掲載となった。

(4) 経費の効率的な活用等の自助努力と並行しながら、行政に対して補助金の維持・増額の理解と支援の働きかけを行なった。

7. 安全管理

(1) 「ノートラブル・ノークレーム」に向け、実施計画に基づいた安全就業の啓発活動を行なったが、残念ながら保険該当事故で対前年度比4件の増加となった。

- ・ 傷害事故 18件（前年度比 1件減） うち経路途上4件
- ・ 賠償事故 11件（前年度比 5件増）

また事故の多発を受けて、緊急安全管理委員会を招集した。

(2) 会員の安全意識の向上と、事故発生時の救援に役立てる目的で、緊急連絡先入りの「安全心得カード（オレンジカード）」所持の徹底を図った。

(3) 各就業現場における準備運動を奨励するために、写真入り「運動の例」を全会員に配付した。

(4) 「安全フォーラム」を2回発行した他、ポスター掲示並びにリーフレット配布、更にグループ研修など様々な機会を通じて、事故・再発防止を含む安全情報の提供を行なった。又、「健康ウォーキング」（14名参加）の実施や、「安全標語」並びに「ヒヤリハット体験記」を募集し、意識の啓発を図った。

(5) 安全巡回を計12回（44ヶ所）実施した他、事故が重篤化する可能性が高い植木剪定班には別途巡回を6回（32ヶ所）行ない、チェックリストに則した指導及び意識啓発を行なった。

(6) 安全就業に関連した研修は、新入会予定者向け以外に、職種別安全研修を4回（参加者：植木剪定111名、除草102名、刈払機安全使用「初心者」17名・「経験者」24名）、専門機関と連携した「自転車シミュレーター交通安全教室」（参加者52名）を開催した他、（公財）東京しごと財団や第七ブロック等が主催した研修には、「事故の未然防止ポイント」（参加者8名）、「植木剪定就業安全研修会」（参加者2名）、「シミュレーターを使った自転車安全講習会」（参加者2名）等、合計9回（参加者20名）受講をした。

(7) センター全体の安全就業の現況や、仕事別グループ毎の安全対策の共有を図

るため、職種横断的な「安全大会」を開催（参加者44名）した。

（8）“実施計画”の基となる「町田市シルバー人材センター安全対策基本計画」の改定を行なった。

8. 社会奉仕活動

（1）“ボランティア全員参加”を目指し、啓発及び推進活動を積極的に行なったが、結果は以下のとおりとなった。

- ・延人数 3, 143名（前年度比 202名増）
- ・実人員 341名（前年度比 46名増）

（2）新しい公認ボランティアとして、町田市役所と「空家対策に関する協定」を締結し、市庁舎における相談会を含む空家の管理について協力することとした。

また、町田警察署に続き、南大沢警察署とも防犯活動等の支援協定を新たに結び、説明会（参加者23名）を開催した。

（3）市内統一ボランティア活動として、定例となった「駅周辺美化清掃ボランティア」を5駅で実施した。

（4）町田市のホームタウンチーム等の応援として、「FC町田ゼルビア」「キャノンイーグルス」「関東パラ陸上競技会」の試合運営支援を行なった。

（5）福祉施設や各種イベントを中心に、お囃子・踊り・民謡等の“伝統・芸能”出張ボランティアを行なった。

（6）公益性の高いボランティア活動として、「赤十字奉仕活動」「学校支援」「民間交番運営支援」「市庁舎屋上花壇整備」を行なった他、町田市との協定に基づくシルバー業務中の「高齢者等見守り活動」について継続実施とした。

（7）地域班ボランティアは、新たに5班が開始し、計12班が防犯活動、美化推進・花壇整備等の活動を行なった。

（8）職種班ボランティアは、「何でも相談」等を行なったパソコン班のみであった。

なおボランティア活動の実績は、以下のとおりとなった。

- | | |
|----------------------------|---------|
| ・ 駅周辺美化清掃活動（5駅周辺） | 142名 |
| ・ 市庁舎屋上花壇花畑整備（町田市役所） | 延79名 |
| ・ 民間交番運営支援（セーフティーボックスサルビア） | 延1,058名 |
| ・ 学校支援活動（小学校15校、中学校2校） | 延80名 |
| ・ 日本赤十字社献血支援（献血ルーム comfy） | 延97名 |
| ・ 踊り（夢舞シルバー100生っスイ祭り含） | 延68名 |
| ・ お囃子（シルバー連町田）（福祉施設2カ所等） | 延45名 |
| ・ 民謡 | 延4名 |
| ・ 町田ホームタウンチーム試合運営支援 | |

(FC 町田ゼルビア・キャノンイーグルス)	延 4 9 1 名
・ 関東パラ陸上競技会運営支援	延 6 名
・ 空家管理相談等	延 5 名
・ 町田・南大沢警察署防犯活動等支援ボランティア	延 6 9 名
・ 地域班ボランティア (森野・中町・三輪町・旭町・木曾・小山町・小山田桜台・ 原町田・忠生・木曾西・函師町・鶴間)	延 8 5 6 名
・ 職種班ボランティア (パソコン)	延 1 4 3 名

以 上